

第18回定期地本委員会を成功裡に開催！

2月17日、JR東海労新幹線関西地本は、第18回定期地本委員会を茨木市民総合（クリエイト）センターにおいて開催しました。

委員会は高岡副委員長の司会で始まり、議長に楳木（地区分会）委員を選出し議事が進められました。委員会では12人の委員の発言があり、①第46回衆議院選挙で自民党を中心とした改憲勢力が多数派を占める事態となった。憲法9条の危機が現実迫っている。平和勢力の広範な結集が求められている。われわれはその中心となって闘おう②米原駅で一人の青年が自殺した。彼は過去の出勤遅延以降、1時間前の出勤を義務づけられていたことが判明している。一度の失敗を責め続ける会社とはなんであるのか。各職場で、出勤遅延を利用した異常な労務管理がまかり通っている。この会社の暴走を正すことは、労働組合の任務であること。③「専任V」の改善に向けての取り組みと60歳以降も働ける職場環境をつくりだすこと④ボーナスカットを許さない取り組み等についての発言がありました。委員の発言を受けての各部答弁、総括答弁を全体で確認し、最後に小林委員長の団結ガンバローで、地本委員会は成功裡に終了しました。



スローガン

「改憲反対」「反戦」「反核・反原発」全ての闘う仲間と連帯し、広範な闘う戦線づくりに邁進しよう！

「高齢法」を悪用した組織破壊攻撃を許さず、職場から雇用を守る闘いを推し進めよう！

全ての闘いを「組織拡大」に結実しよう！